

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 令和7年 11月 28日

P T A名		静岡県立御殿場特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input checked="" type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	高等部1, 2年・26名				

1. 使用状況

寄贈物品名	業務用刺繍ミシン
使用学年及び人数	高等部1, 2年 ものづくり課 縫製班
使用頻度	作業学習(週3回)
使用状況	週3回の作業学習ものづくり課の縫製班で製品づくりに使用 作業時間(月曜日、水曜日の10:15~12:40と木曜日9:50~14:15)
物品の使用による 変化や効果	ものづくり課・縫製班で主に使用している。縫製班ではマチの有無や形、大きさ、柄などを生徒で工夫した巾着袋を製作している。様々な巾着袋を製作し、地区名やワンポイントで刺繍を施している。様々な刺繍ができるため生徒が袋に応じた刺繍デザインを決めたり、自分でミシンを操作したりして製作している。製品の出来栄として褒められたり販売会で売れたりすることで製品づくりに生徒たちは自信が持てるようになった。
今後の活用の 見通しや課題	販売先や地域の特徴となるものを刺繍することができる。デザインを取り込むこともでき、生徒たちのアイデアや地域の特色を生かしたものを刺繍することができ、さらに作業製品の付加価値を高めることができた。刺繍糸による刺繍はきれいに仕上がるがコストがかかるので、コストを踏まえて使用している。
その他 希望や所感など	デザインを取り込んだり、ワンタッチのボタンで操作したりと生徒が自分で考えたり、操作したりすることができ、とてもよいです。

2. 活用の様子



様々な刺繍デザインを刺繍できます



生徒が自分で操作して刺繍します



セットしたらスイッチを押すだけです